

日進月歩

～一步先へ、みんなで前へ～

6年1組 時間割 3月7日～3月11日

	7日(月)	8日(火)	9日(水)	10日(木)	11日(金)
行事					
朝	朝読書	朝読書	朝読書	朝学習	朝学習
1	図工	体育	道徳	道徳	国語
2	図工	道徳	卒業式練習	卒業式練習	書写
3	総合	算数 にーごー	外国語	校長先生の授業	総合
4	卒業式練習	卒業式練習	総合	社会	理科
5	体育	外国語	社会	同窓会 入会式	社会
6	理科	社会	理科	ロッキー タイム	
特別な 持ち物	絵の具				習字道具

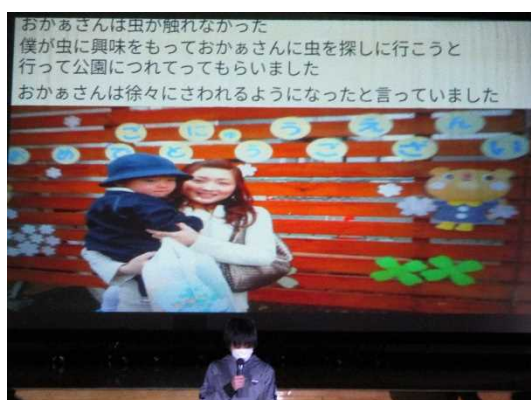
感謝の集い



今週の水曜日に行われた感謝の集い。一人一人が、親への感謝の思い、これまでの成長、自分の夢、めざす自分についてスライドを使い発表しました。

かわいい子には旅をさせよ

親への感謝と聞いて「小さいころのこと、もう覚えていない」という子には「自分にとってうれしいことばかりが、自分の成長を支えているわけではありませんよ。自分にとってイヤなことの中に、自分を成長させてくれたものがたくさんあるのです。」との話をし、私自身の話をしました。



私が小さい頃はファミコンが全盛の時代。周りの子どもたちが一斉にファミコンにはまっていく中、我が家はファミコン禁止。自分もほしいと母親に言うと「うちはうち」との答え。当時は「うちのお母さんはきびしすぎる。ほかの家はいいなあ。」とずっと思っていました。

ファミコンが禁止された私は、一人で家にいる時は必ず本を読むようになりました。本にあきてくると今度は、家の外で野球、サッカー、テニス、バスケなどのスポーツをするようになりました。当時は、ただやることなく仕方なくやっていたため、感謝のおもいはもっていませんでした。

しかし、大きくなり振り返ると、その時間に積み重ねた全てが今の自分を支えていることに気付きました。家での読書は集中力、読解力、想像力、など自分の学習を支える基盤となりました。家庭学習が苦手だった私にとって読書の習慣がなければ、きっと今の職業にはつかなかったと思いますし、教師になったあとも読書の習慣があるからこそ、教科書だけでは教えることができない知識について子どもたちに伝えることができるようになったと思います。また、いろいろな運動に取り組み続けたおかげで体の動かし方が身に付き、たいいのスポーツはすぐに習得できるようになりました。しかし、当時の私はそんなことに気付かず、母親に向けての感謝よりも先に反発することが多く、母にいらぬ苦勞をかけたと思います。もっと前に、自分の見方を変えて、親の厳しさの裏にある愛情に気付くことができれば、もっともっと豊かな時間を過ごせたのにという後悔が自分にはあります。子どもたちには「心の中のどこかに、今日、思った「感謝」の気持ちをずっと忘れずに10回のうち1回は不平ではなく、感謝を伝えられるようにしてほしいです。」との話をしました。これからも自分の成長を支える全ての人たちに感謝を忘れず、歩いて行けるような子どもたちであってほしいとおもいます。

子どもたちの発表のあとの、これまでの成長を振り返ったスライドを見て、子どもたちは本当に大きく成長したなあと感じ無量になりました。と同時に、子どもたちの成長を共に喜び、ここまで歩んでくださった、たくさんの保護者の皆さんへの感謝の思いで胸がいっぱいになりました。私の多くのいたらぬ点ではなく、お子さんの、そして学年の成長に常に目を向けてくださり、様々な形で御協力やあたたかい言葉でこれまでの4年間、力強く6年1組を支え続けてくださって本当にありがとうございました。残りわずかとなりましたが、どうぞよろしくお願いいたします。

※私と裕二先生が感謝の集いで歌った曲は私や裕二先生、そして、保護者の皆さんのお子さんへの思いを代弁していると思いますので今一度載せたいと思います。子どもたちがつくったスライドを見ながら、お子さんのこれまでの成長を御家庭でもふりかえっていただければと思います。

桔梗が丘

平井 堅

「ただいま」の声が小さい時は 心配で仕方が無いんだけど
丸くなった背中に手をあてて 出来るだけ優しい声で言おう「おかえり」

あなたが何かに傷ついた時 変わってあげられない歯がゆさは
それを乗り越えた時の笑顔を 見つめた時に 私の誇りになるから

夢中なものは変わるけど 夢中になる気持ちは変わらないで
その瞳に映るもの全てに 寄り添う事は出来ないけれど
冷たい雨が 頬切る風が あなたの心を砕くかもしれない
負けないように 取り戻せる様に ここだけは暖めておこう

鍵をかけたドア越しにこぼれる あなたの泣き声をただ聞いてた
忘れないで何かに勝つ時は 負ける人の涙がある事を いつでも

正直言うと私だって 胸を張れるような大人じゃなくて
声を上げて苛立ちをぶつける 夜もあった本当にごめんね
いつかあなたが 扉を開けて 自分の空を翔く日が来ても
羽根を休める場所になるため ここだけは暖めていよう

冷たい雨が 頬切る風が あなたの心を砕くかもしれない
負けないように 取り戻せる様に ここだけは暖めておこう
ここだけは暖めておこう